

## 最優秀賞

一般建築物の部

建築主：香取市

設計：有限会社TAKUMA建築設計事務所

施工：株式会社伊藤工務店

所在地：香取市佐原イ499番地1

～伝統と現代技術の統合による、町屋とまちなみの再生と創造～

うわ が し しょう こう えん

# さわら町屋館(上川岸小公園)



小野川越しに眺める全景、門の奥に蔵と広場を望む

(撮影/小川 重雄)

佐原は川越、栃木と並び称される「三大小江戸」の一つで、小野川の両岸に沿って歴史的な街並みが保存されている。そのほぼ中心にかかる香取街道の忠敬橋近傍に本施設の敷地がある。かつては奥行きが深い、歯抜けのような空き地に過ぎなかった。

約500㎡のその土地は幸い平成23年に香取市が買収し、そこに誰でもが利用できる町屋や小公園を含む延べ床面積約330㎡の「さわら町屋館」が整備されることになった。プロポーザルの結果、伝統木造工法に関する知識と経験に長けた建築家を選ばれた。そして、十分に時間をかけた精緻な調査・研究に基づく企画・設計・材料選定・施工を経て、稀有な公共施設が誕生した。

川岸側は5寸柱を多用し、出格子や格子戸等からなる繊細かつ堂々とした2階建「休憩所」の間口がまちなみを繋ぐ。その右側の路地が奥にある広場、東屋、蔵(事務所+広間)へと誘う。公共施設であるがゆえに可能となった「まちの甍」の再興である。

一方、伝統木造の耐震構造に関して

は徹底的な技術的検討がなされ、オープンな店構えの部分とその奥の部分とで耐震性能を満たすべく、複雑な構法の統合によってその目的を果たしている。その際、地元有志による「町屋研究会」の長年に亘る研究成果と、大学研究室の助言が取り入れられた。

このような恵まれたプロジェクトにお目にかかる事はそう滅多にない。そして、日本建築の優れた伝統技術を継承する設計者や職人たちの献身的な仕事の出来栄は、ここを訪れ利用し眺める人々の心を大変豊かにしてくれる。建築文化として長く、そして丁寧に利用され続けることを切に期待したい。

(岩村 和夫)



夕暮れの通りから一階土間を望む



朝日の差し込む2階座敷

(撮影/小川 重雄)